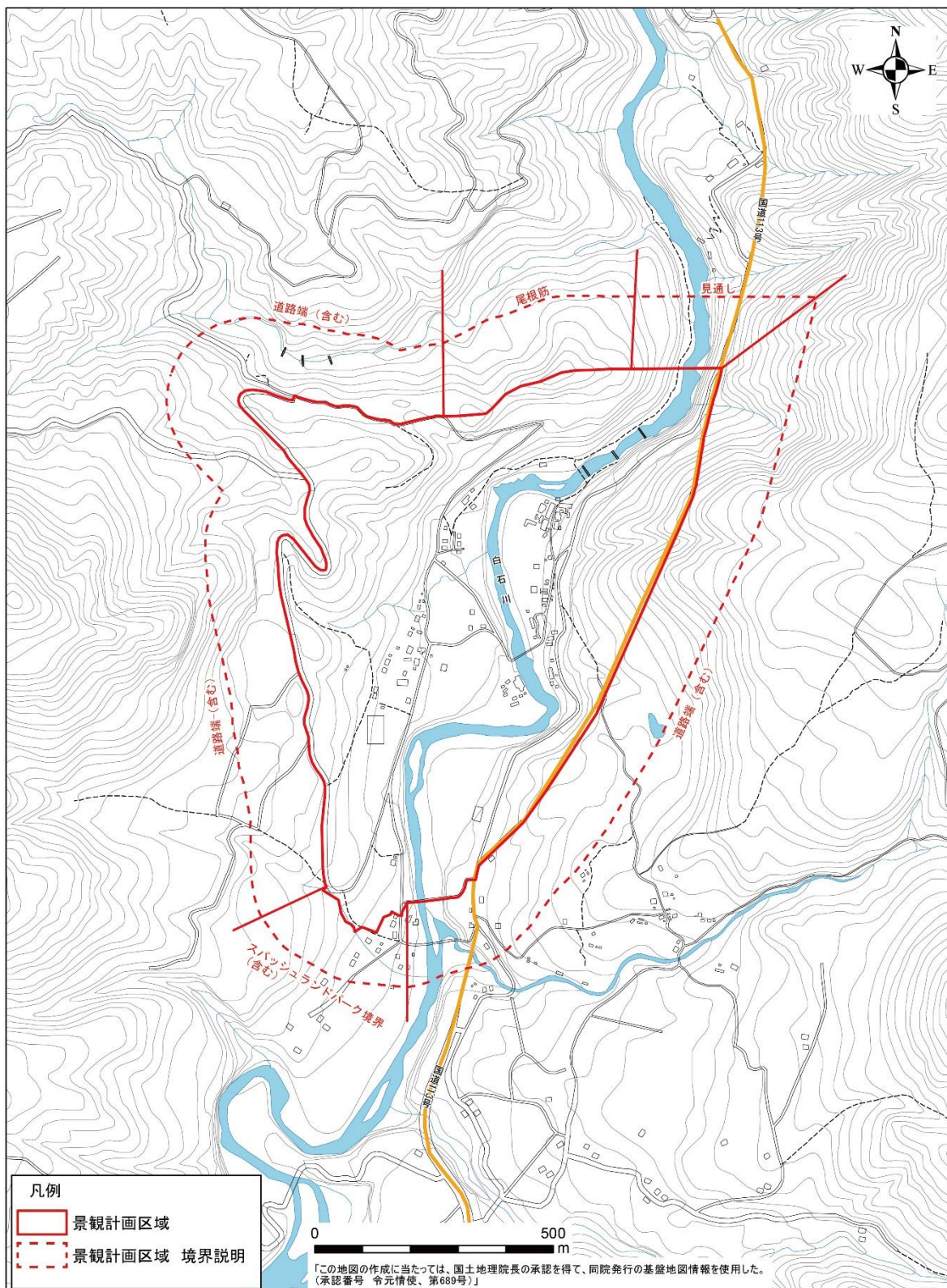


2 小原温泉地区

(1) 景観計画区域

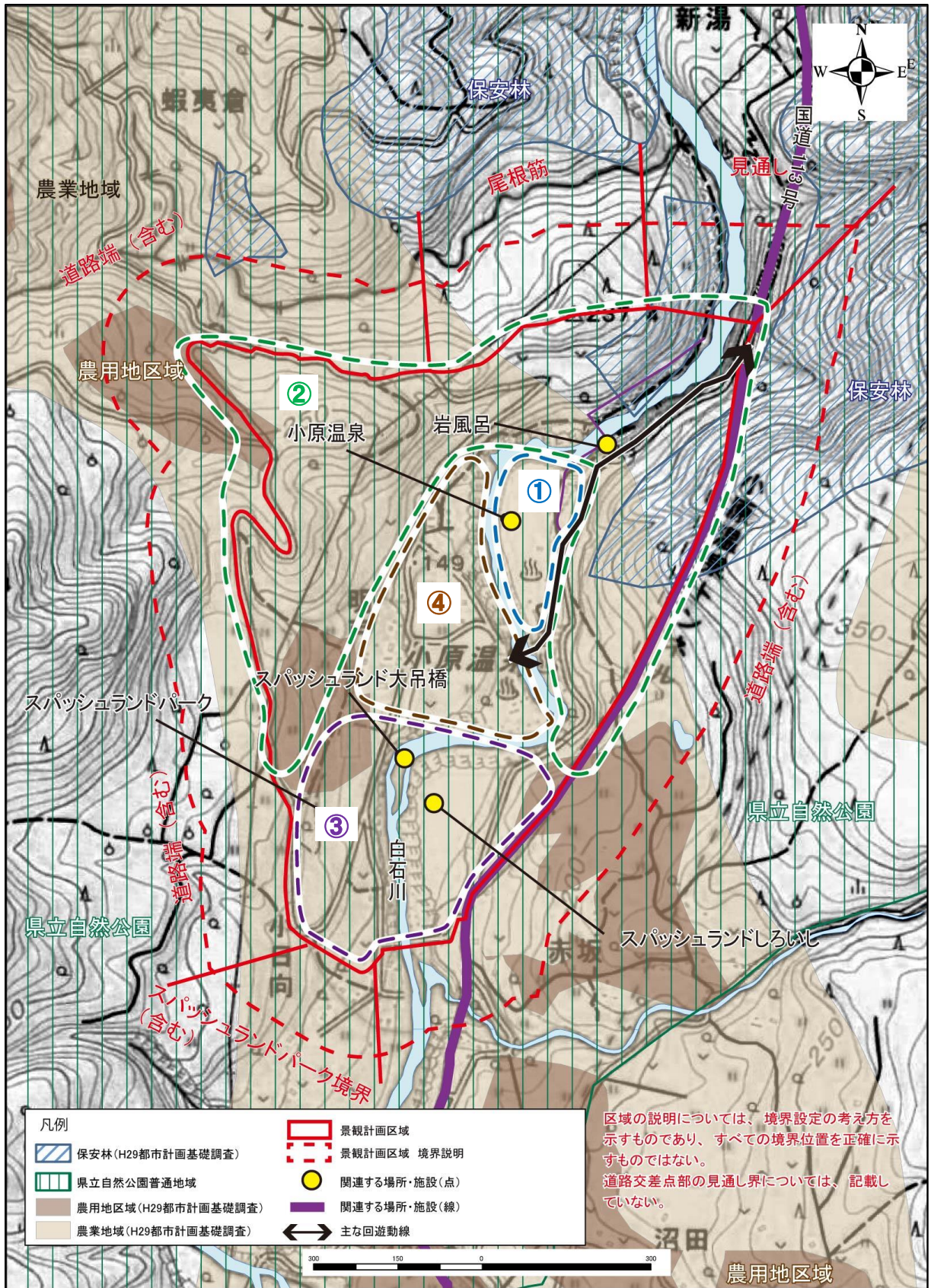
小原温泉地区の区域図を以下に示します。



【区域の考え方】

小原温泉地区の区域は、以下の考え方を踏まえて設定しました。

当該区域を指定する目的
<ul style="list-style-type: none">・ 県立自然公園に指定されていることを踏まえ、自然公園の環境の保全と湯治場由来の営みを活かした景観まちづくりのきっかけとして、景観の保全・形成を図ることを目的とする。・ 小原温泉及びその周辺において、人と地域資源がふれあう交流の拠点形成を図ることを目的とし、景観計画区域を指定する。
地区内で見られる景観（景観の概況）
<p>■仙南地域らしさを象徴する景観</p> <ul style="list-style-type: none">・ 蔵王山麓、白石川がつくり出す谷地形の中に形成された湯治場由来の温泉地であり、川と木々が織り成す落ち着いた景観を形成している。・ スパッシュランドパークに設置された吊り橋からは、背景の樹林地、まとまりのある温泉地、白石川の流れを一望することができる。 <p>■地区固有の景観</p> <ul style="list-style-type: none">・ 温泉地の南側では、住宅と畑、水田による穏やかな農村集落景観が見られる。・ 農村集落の南側に位置するスパッシュランドパークでは、シバザクラをはじめ、四季折々の美しい花による景観が見られる。
区域設定の考え方
<p>■基本的な考え方</p> <p>小原温泉を中心に、川と木々が織り成す落ち着いた景観と温泉地の賑わいと農村集落の穏やかな景観が調和した景観形成を図るとともに、レクリエーション施設による一体的な景観の保全・形成を目指した区域を設定する。</p> <p>■個別の考え方（丸数字は、次ページの図中の丸数字に対応）</p> <p>①温泉地</p> <p>白石市中心部から離れた白石川沿いの渓谷にある落ち着いた温泉地において、まとまりのある景観形成を図るため、区域に含めた。</p> <p>②温泉地を取り囲む樹林地</p> <p>温泉地の背景となる緑の景観として保全を図る必要があるため、区域に含めた。</p> <p>③温泉地南側に位置するレクリエーション施設</p> <p>農村集落南側には、レクリエーション施設の「スパッシュランドしろいし」が整備されており、市民や来訪者が多く訪れることから、小原温泉地や周囲の山林との一体的な景観の調和を図るため、区域に含めた。</p> <p>④温泉地とレクリエーション施設に囲まれた農村集落</p> <p>住宅と畑、水田が混在する河川沿いの農村集落は、温泉地とレクリエーション施設の間に位置しており、これらと一体で景観形成を図る必要があるため、区域に含めた。</p>



▲区域設定検討図

(2) 景観形成方針

小原温泉地区における景観形成方針を以下に示します。

■ 自然景観の保全

- ・ 白石川の環境を保全するとともに、水と周囲に広がる樹林地が作り出す溪谷美を感じさせる貴重な水辺景観の保全を図る。

■ 個性を活かす景観の創出

- ・ 山間において木々に囲まれた立地を踏まえ、豊かな自然を活かした潤いと落ち着きのあ
る温泉地の景観形成を図る。

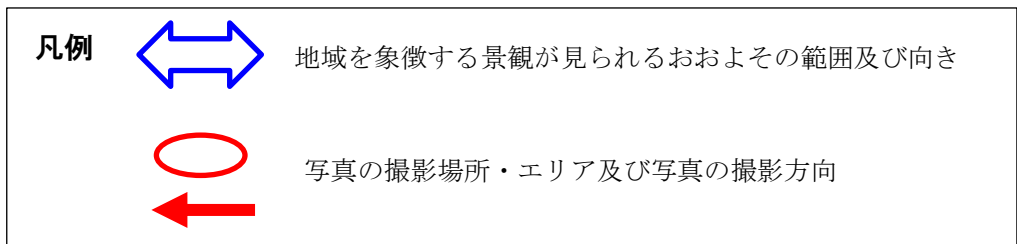
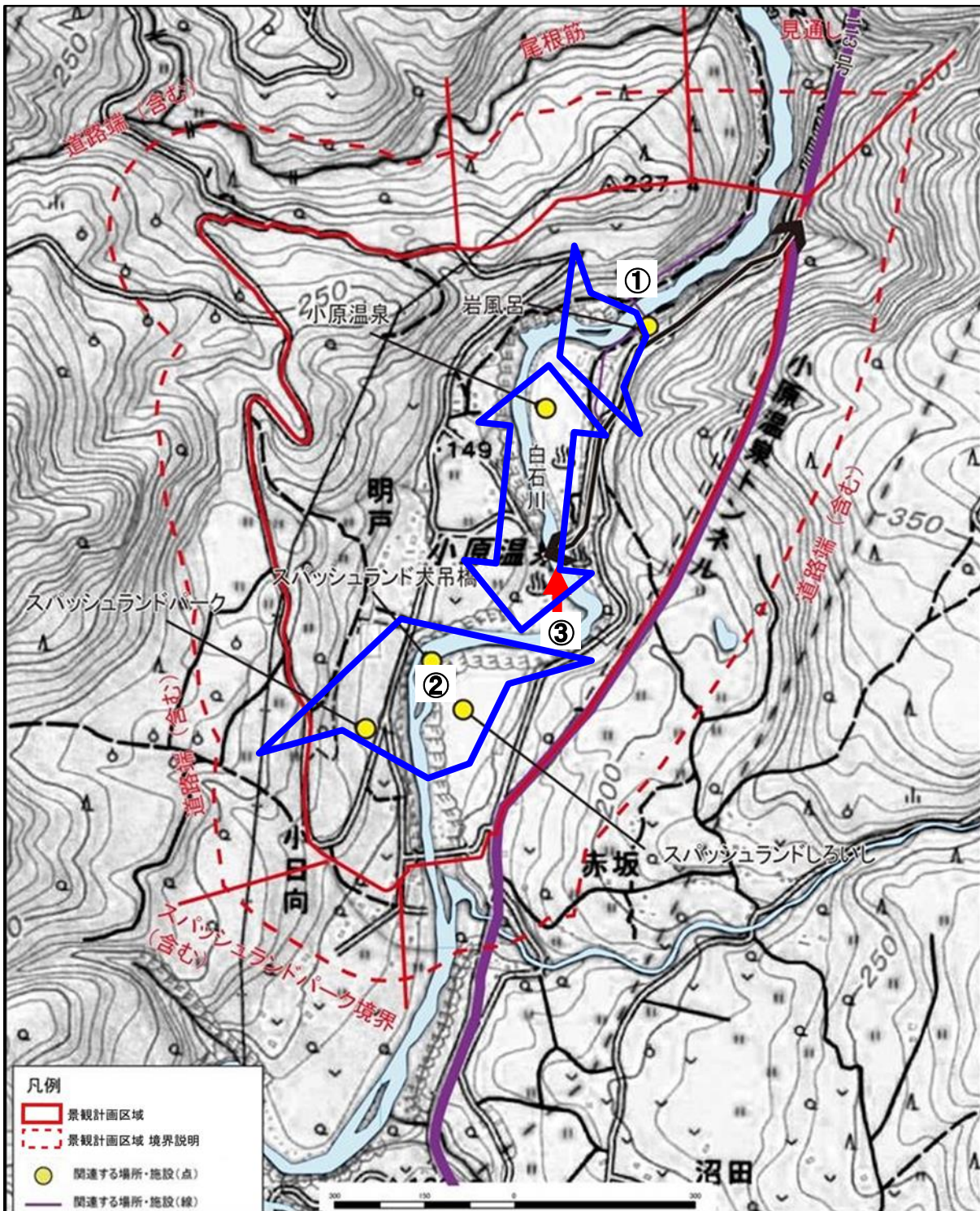
(3) 景観形成基準

小原温泉地区における景観形成基準を以下に示します。

▼景観形成基準

行為	項目	景観形成基準 ※■: 地域の特徴を踏まえた基準
建築物 ・工作物	配置・位置	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地形の起伏になじむ配置とする。 ■ 水辺景観や溪谷美からなる自然景観を阻害しない配置とする。 □ 周囲の環境に配慮したゆとりある配置とする。 □ 大規模な施設となる場合には、オープンスペースを有効に配置し、潤いある景観の形成に努める。
	高さ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 周囲の自然景観から突出しないよう配慮し、周囲と調和した高さとする。
	形態 ・意匠	<ul style="list-style-type: none"> ■ 周囲の自然から突出せず、水辺や樹林地と調和した落ち着いた形態・意匠となるよう配慮する。 □ 大規模な建築物等では、長大な壁面を避け、周囲に与える圧迫感を軽減に努めた形態・意匠となるよう配慮する。
	色彩 ・素材	<ul style="list-style-type: none"> ■ 周囲の自然から突出せず、水辺や樹林地と調和するよう外壁や屋根における素材や色彩に配慮する。 □ 外壁の基調となる色彩は、高彩度の色は避け、色彩を組み合わせる場合には、全体としてのトーンを合わせた統一感のある配色とする。 □ 屋根の色彩は、建物との調和に配慮し、周囲から突出しないものとする。
	設備類	<ul style="list-style-type: none"> □ 屋上設備、屋外設備は、建築物との一体化や道路等の公共空間から見えない位置に配置する。やむを得ない場合には、通りからの見通しに対する遮へい等を行い、周囲の景観に影響を与えないよう配慮する。
	外構 ・緑化 等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の植生に配慮した緑化に努める。 □ 駐車場を設ける場合には、出入口を最小限に整理し、道路境界部や敷地内における植樹等、周囲に閑散とした印象とならないよう配慮する。
開発行為・土地の形質の変更・木竹の植栽伐採	周辺への配慮	<ul style="list-style-type: none"> □ 周囲の自然環境、植生等に配慮する。
	造成等	<ul style="list-style-type: none"> □ 既存の地形を活かした造成に努め、切土・盛土は最小限とする。 □ 法面や擁壁等を設ける場合には、周囲の環境との調和に配慮した素材や工法とする。
	既存樹木・樹林等の保全	<ul style="list-style-type: none"> □ 集落内や通り沿い等で地域の景観を印象づける高木等の既存樹木は、可能な限り保全するよう努める。 □ 植樹をする際は、周囲の自然植生に配慮した樹種を選択に努める。 □ 伐採後は、自然の植生の再生に向けた措置を行うよう努める。

(参考) 区域で見られる景観 (丸数字は、次ページの表中の丸数字に対応)



区域で見られる景観	説明
 <p data-bbox="193 557 384 591">①白石川と溪谷</p>	<p data-bbox="716 246 1002 280">●白石川と溪谷の眺め</p> <p data-bbox="716 295 1406 517">小原温泉の北側には遊歩道があり、白石川を間近に見ることができる。当該地区内では、白石川流域は深い溪谷になっており、川の左右を切り立った山林に囲まれ、白石川の流れが生み出した溪谷と周囲の山林による豊かな自然景観が形成されている。</p>
 <p data-bbox="193 1037 517 1070">②スパッシュランドパーク</p>	<p data-bbox="716 616 1008 649">●スパッシュランド白石</p> <p data-bbox="716 665 1406 741">スパッシュランド白石は、温水プールなどのレクリエーション施設として一体的に整備されている。</p> <p data-bbox="716 757 1406 1032">周囲は山林に囲まれた自然景観が見られ、スパッシュランドつり橋からは白石川や溪谷の木々、小原温泉を望むことができ、自然と温泉地がつくり出す特徴的な景観が見られる。また、スパッシュランドパークは白石川左岸に整備され、季節の花々が咲く彩りある景観を形成している。</p>
 <p data-bbox="193 1411 584 1444">③温泉地内の様子（図内赤矢印）</p>	<p data-bbox="716 1097 895 1131">●小原温泉地</p> <p data-bbox="716 1146 1406 1323">小原温泉は、国道113号から溪谷に下りた場所にある山林に囲まれた温泉地である。温泉宿と民家等がまとまって立ち並び、閑静な温泉地の街並み景観が形成されている。</p>

